

白桦内：ナミtentウ（本文とは関係ありません）



生物調査は何も山や人里離れたところでやるだけではありません。住宅地など、街なかでの調査も少なからずあります。今回は街なかの生物調査について徒然なるままに書いてみました。

生物調査で「困る」とことと言えば、街なかでの調査ではないでしょうか。特に昆虫類を調査する者にとっては捕虫網を持って街なかをうろつくのは、とりわけ恥ずかしいことです。さりげなく調査できる植物の人がうらやましく思います。でも、何年も街なかで調査するにしたがって、次第に羞恥心がとれてしまい、今ではあまり気にせず調査ができるようになりました。言いかえれば、マヒしてしまったわけですが・・・。

しかしフツウの人にしてみれば、街なかで「虫取り網なんか持って何しとんねん」としか思わないでしょう。そうなれば調査するわれわれは「ヘンな人」「アヤしい人」以外の何者でもありません。動物行動学の日高敏隆先生は住宅地でアゲハチョウの調査をした時、「アヤしい人」と間違われたそうです。しかしながら、女子学生といっしょの場合だと、怪しまれることがなかったそうです。男である私は当然のことながら、「アヤシまれる」対象となります。街なかの場合は人が多くお互いが知らないのも普通ですが、これが田舎に行くと「アヤシさ」のレベルが上昇して、お巡りさんからいきなり職務質問と言うことも・・・。

とは言っても、怪しいヤツというツメ

ある日のフィールド・ノートから



タ～い視線ばかりではありません。「兄ちゃん、何してはんの?」「昆虫の調査です」「え??」「ムシです。チョウとかトンボを調べています」「ああ、そうです。たいへんやねえ」と感心する人の方が多いです。全体から見ると、こういった方々はごく少数でしょう。

ある猛暑の7月。ところは当然のごとくクソ暑い大阪の団地で、チョウ類のラインセンサスの最中にオバチャンに声をかけられ、いつも通りに何をしているのかを聞かれたあと、「こんな暑いのにえらいたいへんやん。これでも食べ」と、子供みたいにアイスキャンディー（イチゴ味）をもらってしまったこともありました。なんぼなんでも40に近いオッサンにイチゴのアイスキャンディーはないやろ、と思いつつも、オバチャンの親切に感謝

していただいております。ただこの後がたいへんで、捕虫網と調査票で両手がふさがっている上に調査中であつたこともあり、しばらくもてあましましたが、この躊躇が災いして、アイスが溶け出して手がべとべとなり、えらい難儀してしまいました。

街なかの公園には、ホームレスの人の「家」があつたりします。けっこう「家」が高密度に「建築」されている公園があつたり、いつもホームレスの皆さんの集まる公園があつたりと、公園によって様々です。その中を捕虫網を持ってさりげなく通り抜けておりますが、今まで声をかけられたことはありません。向こうにしてみれば、私のことを「変な兄いちゃんおるな」ぐらいに思っているのでしょうか。でも、当事者たちはともかく、フツウの人から見れば、ホームレスと虫取り網を持ったオッサンがいるような公園は怪しすぎて近寄れないシチュエーションであつたに違いありません。

以外に困ることは団地にはゴハンを食べるところが案外なかったりすることです。コンビニすらないこともしばしばです。たとえコンビニがあつて弁当が買えたとしても、今度は食べる場所がなく困ります。団地の中の公園で、ベンチに座って一人で食うのも恥ずかしいものです。でも「変な人してるわ」と思われようと、仕方ないので食べてますが・・・。

（大阪支社自然環境調査室・青柳正人）

ご意見 ご質問
お待ちしております

素朴な疑問やご感想など下記のアドレスまでお寄せください。お待ちしております。

E-mail :nl-info@chiikan.co.jp

編集後記

例年、冬至のユズ湯の後は、さら湯では物足りなくなり、お風呂に何か入れたい気分になります。「冬至のユズ湯、端午の節句のショウブ湯。ということは他の月にも湯があるのかな?」...調べてみると「季節の薬湯 - 1月松葉、2月大根の葉、3月ヨモギ、4月桜、5月ショウブ、6月ドクダミ、7月桃の葉、8月ハッカ、9月菊、10月ショウガ、11月ミカン、12月ユズ（東京ガス都市生活研究所）」とのこと。季節感を楽しめると同時に、冬のユズ湯や大根の葉湯には発汗・血行促進、夏の桃の葉湯にはあせも・日焼け・虫さされなどの肌のトラブルを防ぐなどの薬効があるそうです。薬湯の始まりは平安時代初期にさかのぼること。昔から、植物は暮らしの中に溶け込んでいたんだなあ...と感慨にひたりつつ、あれこれ試しているこの頃です。（高岡由紀子）

News Letter NO.17 2003年1月

発行】.....株式会社地域環境計画

発行人.....高塚 敏
編集...中山香代子・伊藤 透・鈴木志保子・高岡由紀子
東京本社 〒154-0015

東京都世田谷区桜新町2-22-3 NDSビル
TEL 03-5450-3700 / FAX 03-5450-3701
営業窓口...鈴木志保子・伊藤 透・高岡由紀子

大阪支社 〒569-1123
大阪府高槻市芥川町1-15-18 ヨリ川ビル
TEL 072-684-3182 / FAX 072-684-3184
営業窓口.....中山香代子

北海道支社 〒001-0017
北海道札幌市北区北17条西5-20-303
サンオービルF
TEL 011-717-8001 / FAX 011-717-8021
営業窓口.....中島正雄